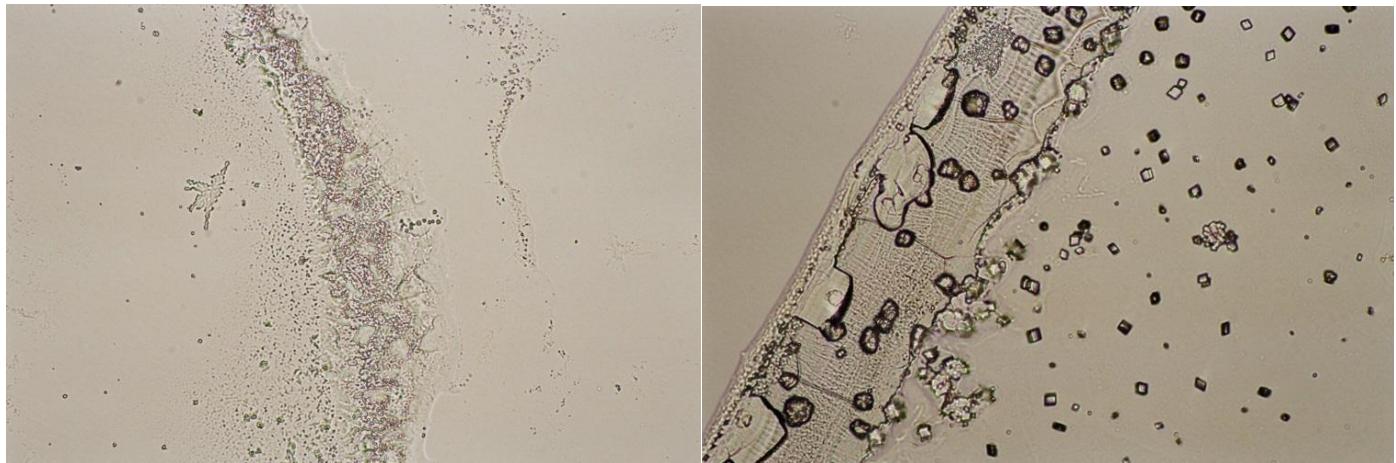


水道水に 60 分自然音を聞かせる実験結果 2021. 10. 5



水道水に 60 分自然音を聞かせた後(400 倍に拡大)

何もしない水道水 (400 倍に拡大)

スピーカーから流れる屋久島の自然音の空気振動のエネルギーは、水道水の残留塩素の害作用を解除し、且つ溶質と溶媒水との結合関係を緩め、同時に水の機能を発揮しています。水の改質方法としては最も効果的改良方法の一つといえます。水は誘電体の凝集場であり、一時も休むことなく、交番的に動いている導電体流体です。

本分析で推測される交番磁束が水の電気エネルギーに影響するのはファラデーの電磁誘導の法則に鑑み自明の理であると述べても言い過ぎではないでしょう。

水はミネラルと相互作用して、階層構造を構成しているから出来る集団のベクトルを有する動的作用を演じることができます。宇宙の成り立ちと同じ階層構造こそ「みずのいのち」です。水の構造化とその動的秩序リズムこそ水の本質です。自然音と水の素晴らしいコラボレーションを見ることが出来ました。ありがとうございました。

実験日 2010 年 10 月 5 日 東洋化学株式会社 中島俊樹

実験に使った自然音、スピーカー、水道水を入れた瓶 3 種類

